

G高巣立ちへの準備

2月9日(木)に、3年生のワックス作業が行われました。これは、卒業を前に自分たちが使った教室を徹底的にキレイにし、学びの場を次の後輩学年へ引き継ぐ大切な行事です。

本県の県立高校では、おそらくすべての学校で行われている冬の風物詩ですが、寒風の中それぞれの持ち場でひたすら磨きをかける生徒たちの表情に、もうすぐ学び舎を離れなければならないという一抹の寂しさと、今までよく頑張ったなという気持ちの交錯が感傷を誘います。

本校の校舎(教室棟)は、創立以来のままの姿で現在までその勇姿を誇っています。この風景から得られることは、卒業生たちが来校の際に「何も変わっていない!! 高校時代がよみがえる!!」と口々に話す言葉に、彼らの青春の一コマが思い出の残像と現在の視覚イメージと重なり、強烈な記憶として鮮明に蘇るとともに、これからは脈々と受け継がれるであろうことを指します。さらに、場が変化していないことは“におい”も鮮明にその感情を揺さぶることをも彼らから聞きました。

大切に使われている施設だからこそ、思い出が咲き誇りたくさんの方々から愛され、そこで生まれた出来事はG高の文化となり得るのです。そして、これからもその伝統が続いて欲しいと願っている人々の思いに対し責任の重さを痛感するものです。

私事で恐縮ですが、実は28年前に、この学校に採用であると通達され、当時の具志校長先生にご挨拶に行ったのです。その日玄関から事務室の前を通り、この部屋に通され「よろしくお願ひします!!」と緊張しながらお話をさせていただいたことを僅か1日だけの思い出ですが昨日のように覚えています。つくづく妙な縁だと思ひます、、、「えっ、1日だけ?」とお思ひのあなたには顛末を個人的に教えて差し上げます。脱線、、、

さて、卒業式まで残りあと19日。今年度の卒業式は、体育館改築工事中のため「うるま市民芸術劇場」で実施の運びとなりました。学校以外の場所での卒業式実施というハンデを克服するとともに、職員一同1, 2年生も知恵を絞って感動的な式と素敵な思い出づくりになるよう現在準備が進められています。保護者、関係者の皆様には3月1日にはぜひご出席を賜り3年生の門出を祝福していただきますよう心からお願い申し上げます。

3年生は2月13日(月)から進路準備期間となり、これまでのことを振り返る時間より、これからの進路に向き合う時間が否が応でも増えてきます。高校生活最後の一踏ん張りとして、この期間を将来を見据えた人生設計のために、家族での会話の時にしたいと思ひます。

